

日本臨床検査自動化学会科学技術委員会
平成 29 年度第 2 回委員会議事録

1. 日時：平成 29 年 9 月 21 日（木）13:00～14:00
2. 場所：パシフィコ横浜会議センター 512 号室
（日本臨床検査自動化学会第 49 回大会）
3. 出席者（敬称略）：池田、澤部、白井、三村、神山、村本、山本、篠原、河口、
外園、藤本、高崎、柏木、田中、高笠、谷本、御子柴、金沢、
青柳、沼田、大竹、田代、清宮、桑、大澤、細萱（一部出席）
欠席者（敬称略）：大久保、山舘、松本、松原、浅田、片岡
4. 配布資料：
資料 1：平成 29 年度第 2 回科学技術委員会開催通知
資料 2：平成 29 年度第 1 回科学技術委員会議事録
資料 3：平成 29 年度科学技術委員会委員名簿
資料 4：第 17 集マニュアル質問集
資料 5：科学技術委員会技術マニュアル・既刊と提案
5. 議事：
 - 1) 報告事項
 - (1) 第 18 回科学技術委員会セミナー参加見込み状況
今年の科学技術委員会技術セミナーはマニュアル第 16 集（臨床検査に用いる測定試薬の成り立ちと特徴および適正な使用方法）を基に、学会最終日（9 月 23 日・土）の 14 時～16 時 30 分の日程で開催される。申し込みを例年通り学会ホームページから定員 150 名で実施したが、短期間でいっぱいとなったため、学会事務局と相談して 200 名、次いで 250 名まで拡大し、これもすでに定員に達している。会場は 300 名収容できるが、当日参加の方もおられるため、満員が予想される。
 - (2) 科学技術委員会第 16 集マニュアルの刊行について
第 16 集マニュアルがすでに刊行されており、池田委員長より担当の先生方にお礼の言葉があった。セミナー会場においても販売予定である。
 - 2) 審議事項
 - (1) 平成 29 年度第 1 回委員会議事録の承認
本年 4 月 21 日の春季セミナー時（出雲）に実施された、第 1 回委員会の議事録案が承認された。
 - (2) 平成 29 年度科学技術委員会委員について
（株）LSI メディエンスの社内異動により、田代委員が退任し大竹委員へと交代するこ

とと、国際医療福祉大学（成田）の清宮委員が新規委員として就任することが報告された。これらについては学会理事会での承認もすでに受けている。就任・退任される各委員より挨拶があった。その他、大阪赤十字病院・山本氏と和歌山県立医科大学病院・和田氏が委員候補となっており、理事会承認等の手続きが済んでから委員に就任予定である。引き続き、委員として適任の方について推薦をお願いしたい旨の依頼があった。

（3）科学技術委員会第 17 集マニュアルの企画および担当について

前回の委員会にて次のマニュアル企画を「いまさら聞けない臨床化学・免疫化学の基本事項（仮題）」とすることが合意されている。日常検査の基本的な事項なのに教科書に書いていない、誰に聞いてもはっきりしない、誰もが分かっているようで分かっていない、などの事柄について整理したい。今回のマニュアル作成においては神山委員に取り纏めを依頼し、承諾をいただいている。現在、学会ホームページ上に「いまさら聞けない質問」の募集をアップして質問もいただいております（資料 4）、動き始めたところである。また、今年の技術セミナーにおいても質問用紙を配布予定である。題材が集まった後には各委員で分担して回答する必要があると思われるので、ご協力をお願いしたい。編集・回答方法等の詳細についてはメール等でやり取りする予定である。

（4）第 19 回科学技術委員会技術セミナー企画について

次回の技術セミナーを来年度の大会時（神戸）にて実施するが、例年、出来上がったマニュアルに沿って企画されているため、企画案は次回の委員会（春季セミナー時）において審議したい。

（5）科学技術委員会第 18 集マニュアルの題材について

池田委員長より、資料 5 に基づいて既刊のマニュアルの内容と今後のテーマ案について説明があった。各種議論の結果、「免疫に関する測定法や装置について」、「現場で異常データを見つける糸口・方法について」、「検査データの活用・使い方のスキルを高めるマニュアル」の 3 種の大きなテーマが提案された。今後、事務局や幹事の先生方と相談させていただきプランニングしていきたい。

（6）IHE 臨床検査部門活動報告

今年度より医療情報委員会が発足したため、IHE 臨床検査部門活動は当委員会からそちらに移管することとなった。

（7）次回の開催予定

次回は 2018 年 4 月 6 日（金）の春季セミナー（奈良）において予定している。詳細は後日連絡する。

（記録：澤部）